

チャイルド・ファンド・ジャパンだより

特別版

[スマイルズ] 2013年12月NO.33

SMILES

<http://www.childfund.or.jp>

Small Voices, Big Dreams 2013

子どもたちの小さな声 大きな夢 2013



子どもたちの思いを聞いてください

平和・暴力・ヒーロー・幸せについて / 世界の子どもの意識調査

ChildFund
Japan

チャイルド・ファンド・ジャパンは、1975年より、アジアを中心に貧困の中で暮らす子どもの健やかな成長、家族と地域の自立を目指した活動をしています。

平和 暴力 ヒーロー 幸せ について、子どもたちの声

Small Voices, Big Dreams (子どもたちの小さな声 大きな夢) は、チャイルド・ファンド・ジャパンが加盟するチャイルド・ファンド・アライアンスが、世界の子どもたちの声を聞くために実施しているアンケート調査です。今号では今年の調査結果の主要なポイントをご紹介します。

子どもたちの声



今年で4回目となるSmall Voices, Big Dreams調査の主題は「暴力と搾取」です。また、「安心と幸せ」、「平和」、「ヒーロー(ヒロイン)」についても子どもたちに率直な意見を聞きました。子どもたちの声に耳を傾けることは、子どもたちが暮らす世界を理解することの重要な手掛かりになります。調査の結果と子どもたちの回答をご紹介します。

このアンケート調査は、チャイルド・ファンド・アライアンス加盟団体が協力して、2013年5月から9月にかけて、世界47カ国の10~12歳の子どもたちを対象に実施されました。アフリカ、アジア、北米・中南米にまたがる47カ国のうち、36カ国は発展途上国で、11カ国は先進国です。発展途上国3,766名、先進国2,733名、合わせて6,499名の子どもたちが参加しました。日本の小学生や、フィリピン、ネパール、スリランカのチャイルドたちも調査に参加しています。

Q どんな時に安心や幸せを感じますか？

家族といえる時(56%)、友だちといえる時(21%)、学校にいる時(17%)、家にいる時(13%)、遊んだりスポーツをしている時(11%)。この中でスリランカの子どもたちが安心と幸せを感じるの、家にいる時(27%)と、家族といえる時(20%)でした。



ハンサナ/11歳
(スリランカ)

兄弟姉妹と遊んでいる時に、幸せだと感じます。

Q あなたの国で暴力が起こる一番の理由は何かと思いますか？

「悪い行い」(規則の違反や、怠惰、貪欲、嘘などを含む)と答えた子どもが最も多く(29%)、貧困(17%)、アルコール(16%)、ドラッグ(12%)、社会的争い(11%)という回答が続きました。



チン/11歳
(ベトナム)

亡くなったお父さんに、少なくとも1週間に2回は叩かれていました。理由もなく叩かれることも時々ありました。

世界の子どもたちの同じところ・違うところ

本調査では、発展途上国に住む子どもたちの回答と、先進国に住む子どもたちの回答を分けて集計しています。それぞれの集計結果を比較することによって、世界の子どもたちが共通して感じていることと、暮らす国の経済的豊かさによって意見が異なることが、浮き彫りになっています。

まず、明らかになったことのひとつは、調査に参加したどの国の子どもも、暴力から完全に守られているわけではない、ということです。子どもたちは、暴力の原因について、また、暴力を防ぐ方法についても、自分の考えを持っています。

子どもたちにとって家族の存在が非常に重要であるということも、世界的な傾向として見られました。途上国でも先進国でも、子どもたちの目には、家族こそがヒーロー

(ヒロイン)として映っています。

途上国と先進国で回答の違いが見られたのは、教育の重要性についてでした。先進国の子どもたちよりも、途上国の子どもたちの方が、一貫して、教育を重要だと考えています。暴力を減らし自分自身を守るためには、犯罪に合わないことが大切だと先進国の子どもたちは考えていますが、途上国の子どもたちは、教育が重要な役割を果たすと考えています。先進国の子どもたちは友だちといえることを重視する一方、途上国の子どもたちは、学校に通うことに幸せを感じています。途上国の子どもたちは家族のメンバー、政治的リーダーに続いて、先生をヒーロー(ヒロイン)だとみていますが、先進国で先生をヒーロー(ヒロイン)だと考えているのはわずか1%です。

Q ヒーロー(ヒロイン)は誰ですか?

家族のメンバーがヒーロー(ヒロイン)だと答え(46%)、政治的リーダーや活動家(11%)が続きました。

ネパールの子どもたちにとっては、教師(40%)、家族のメンバー(25%)、友だち(10%)がヒーロー(ヒロイン)です。



サラスウォティ/12歳
(ネパール)

私のヒーロー(ヒロイン)は先生です。いろいろなことを教えてくれるし、進むべき道を示してくれます。

Q 平和とは、どんなことですか?

戦争がないこと(26%)、調和・統一されていること(20%)、暴力がないこと(16%)、幸せなこと(16%)、静寂・心の平穏(12%)。



シナムール/12歳
(ベナン共和国)

戦争がないことが平和だと思う。

Q もし国のリーダーになったら、子どもたちを暴力から守るために、何をしますか?

法律や規則を増やす(30%)、教育を改善する(12%)、一人ひとりの子どもの安全を確かなものにする(12%)。



ジバ/12歳
(マリ)

私がリーダーだったら、早期結婚や児童労働を無くす努力をします。

Q より良い世界を作るためには何が必要ですか?

より良い世界を作るために必要となる16の選択肢の中から、自分と家族にとって重要な6つを選ぶよう、子どもたちにお願しました。この選択肢は、国連が実施した「My World」調査から引用したものです。

その結果、子どもたちが最も必要なこととして挙げたのは「良い教育を受けること」(65%)でした。この割合は先進国(55%)よりも、途上国(72%)で高く、特にパラグアイでは、98%という、調査全体の中で最も高い割合の子どもたちが、この項目を選びました。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ① 良い教育を受けること | ⑨ 安価で栄養のある食料 |
| ② 犯罪や暴力から守られること | ⑩ 自然環境の保護 |
| ③ 男女間の平等 | ⑪ 気候変動への行動 |
| ④ より良い保健医療 | ⑫ 家でエネルギーが使えること |
| ⑤ 誠実で意見を聞き入れる政府 | ⑬ 道路が整備されていること |
| ⑥ 安全な水へのアクセスや公衆衛生 | ⑭ 電話とインターネットへのアクセス |
| ⑦ 差別や迫害がないこと | ⑮ より良い仕事の機会 |
| ⑧ 働くことができない人への支援 | ⑯ 政治的な自由 |

「人々は争っています。いつでも笑っているような世界がいいです」



フィリピンに暮らす11歳のマークは、理想的な世界についてこのように話しています。平和を、戦争や暴力がない状態として捉えていることも、世界の子どもたちに共通する考えです。

途上国では、多くの子どもたちが、暴力の原因として貧困を挙げ、暴力を防ぐ方法として教育を挙げています。子どもたちの教育を支援することは、暴力の原因となる貧困の削減につながります。また同時に、世界の子どもたちの共通の願いでもある、戦争や暴力がない世界をつくることにもつながると言えます。

今回の調査を通して、チャイルド・ファンド・ジャパンが行う支援活動の中心的柱である「教育」の重要性を、改めて確認することができました。なによりも、子どもたちの「夢」を支えるためには、子どもたちの「声」に耳を傾けることが大切だということが、改めて示されています。

チャイルド・ファンド・ジャパンがこの調査に参加するのは今回が2回目で、今年も東京都杉並区の139名の小学生が協力してくれました。日本の調査結果で特徴的だったのは、「暴力が起こる理由」として、「いじめ」と答えたことです。これは全世界(4%)、先進国(7%)と比較しても高い割合となり、日本が抱える社会問題も垣間見える結果となりました。

世界をより良くするためには「教育が必要だ」と、
子どもたちは考えています。



子どもたちの「勉強したい!」を応援してください。

「雨が降って洪水になるととても悲しいです。
学校に行けなくなって、新しいことを学べなくなるから」

Small Voices, Big Dreams(子どもたちの小さな声 大きな夢)調査の中で、東ティモールに暮らす12歳のペドロは、こう話しています。教育の重要性を知っているのは、ペドロだけではありません。調査は、世界中の子どもたちが教育を大切だと考えていることを示しています。特に、発展途上国の子どもたちは、勉強したいと強く望んでいます。途上国では、学校で勉強することに幸せを感じている子どもの割合は、先進国の5倍にもなります。



絵本を読むフィリピンの子どもたち

500人の子どもたちが支援を待っています。

このような違いが出るのは、学校に通い、勉強することが、途上国の子どもたちにとっては、あたりまえのことではないからです。ペドロのように、学校に行けなくて悲しい思いをしている子どもは珍しくありません。チャイルド・ファンド・ジャパンが支援を行うフィリピン、ネパール、スリランカでも、支援を受けなければ学校に通うことが難しい子どもたちが大勢います。現在、500人の子どもたちが皆様からの支援を待っています。子どもたちの「勉強したい!」を応援してください。

ぜひ、同封のハガキでお申し込みください!

インフォメーション コーナー

お知らせ

チャイルドの成長記録と
クリスマスカードをお届けします!

チャイルドたちの1年間の成長を示す「成長記録」をお届けしています。ネパールのチャイルドたちの記録は7-8月にお送りしましたが、フィリピンのチャイルドの記録は11月中旬に、スリランカのチャイルドの記録はそれ以降に順次お届けいたします。また、12月にはフィリピンのチャイルドたちから手作りのクリスマスカードが届きます。スリランカのチャイルドたちからは季節のごあいさつ状が、ネパールのチャイルドたちからはネパール暦の新年である4月に新年カード状が届く予定です。どうぞお楽しみに!

お知らせ

領収証の送付について

2013年にご寄付いただいた分の領収証を2014年1月中旬頃にお届けいたします。(ご寄付ごとに領収証を送付している分を除きます。)領収証は確定申告の際、寄付金控除の手続きに必要です。2011年以降の寄付金に関しては、従来の所得控除方式と、新設の税額控除方式のどちらか有利な方を選択することができます。なお、東京都にお住まいの支援者の皆さまからのご寄付は、住民税に対しても寄付金控除の対象となります。詳しくは各ホームページをご覧ください。
[国税庁] <http://www.nta.go.jp/taxanswer/shotoku/1263.html>
[東京都主税局] <http://www.tax.metro.tokyo.jp/>

ChildFund
Japan

Vision Mission

チャイルド・ファンド・ジャパンは
ここに掲げるビジョン(目標)、ミッション(使命)に
基づいて活動します。

ビジョン(目標)

すべての子どもに
開かれた未来を約束する
国際社会の形成

ミッション(使命)

生かし生かされる
国際協力を通じて
子どもの権利を守る

チャイルド・ファンド・アライアンス ChildFund Alliance

人種、宗教、性別、国籍を問わず世界の子どもたちに、効果的な支援活動をするためのネットワークで、子どもたちに向けたスポンサーシップ・プログラムを行う12団体から構成されています。チャイルド・ファンド・ジャパンは2005年4月に加盟しました。

スマイルズ
<チャイルド・ファンドだより SMILES> 2013年12月発行
〒167-0041 東京都杉並区善福寺2-17-5
特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン
理事長 深町正信 事務局長 小林毅
TEL. 03-3399-8123 FAX. 03-3399-0730
E-mail: childfund@childfund.or.jp URL: <http://www.childfund.or.jp/>